

第2回エコ大学ランキングの概要

<アンケート調査「エコ大学ランキング」>

1. 目的

国内の様々な大学が、持続可能なキャンパスづくりに向けて、多様な取り組みを始めていますが、いまだCO₂排出量の大幅な削減には至っていません。その中で、学生もその取り組みに参加、協力したいと思っています。

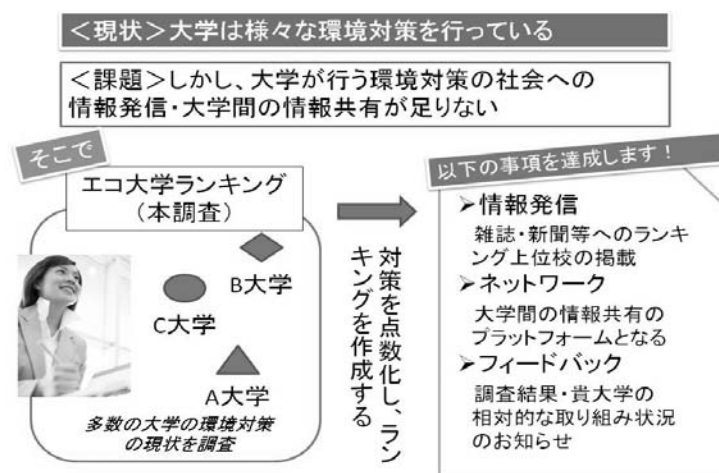
そこで、Campus Climate Challenge 実行委員会は、エコ大学ランキングを通して、

- (1) 学生と教職員による温室効果ガスの削減と持続可能なキャンパス作りの促進
- (2) その成果の社会へ発信

の2つを達成しようと考えています。

そのために、エコ大学ランキングで各大学の気候変動対策の現状を把握し、情報発信と共有、ネットワークの形成、調査結果のフィードバックを行ないます。

■エコ大学ランキングの目的■



2. 調査概要

- (1) 各大学の気候変動を中心とした環境対策を点数化

アンケートの回答から環境対策を点数化し、ランキングの結果や他大学と比べた貴大学の状況を、**成績表**としてお知らせします。

調査項目：エネルギーの使用量、自然エネルギーの使用量、環境への取り組み、学生との協働など

- (2) 情報の発信

ランキング上位の大学や先進的な取り組みを行っている大学を雑誌・新聞等に対して、**情報発信**を行います。※情報の取り扱いについては、注意事項「2. 回答いただいた情報の取り扱いに関して」をご覧ください。

- (3) 情報の共有

他大学の経費削減につながる**省エネ対策やユニークな取り組み**などを皆様に提供していきます。

<調査表の返送>

記入いただいた調査表は、同封の封筒で7月7日(水)までに返送をお願いします。

また、調査にご協力いただけない場合も、「1. 貴大学について」の部分のみ記入していただき、返送ください。

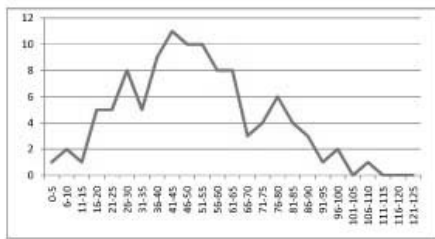
エコ成績表
～「エコ大学ランキング」の結果から～

CCC大学

「エコ大学ランキング」は貴大学に、事前に私どもの作成したアンケート票に回答していただくだけでなく、調査から得られた他大学と貴大学との比較データをこの「エコ成績表」によってフィードバックするところまで一つのパッケージとしています。
本資料に、貴大学の強み、または、今後取り組むべき課題が明確化し、更なる温暖化対策の推進のお手伝いができれば幸いです。
また、本資料をご覧になる際には、同封の報告書31～38ページの調査表、37、38ページの採点基準等も参考にしてください。

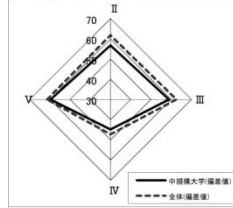
	配点 (点)	評価(点数)	偏差値
	貴大学	中規模	全体
Ⅱ 大学でのCO ₂ 排出・エネルギー使用量	小計:40	21	16.3
a.各エネルギー使用量(前年比削減量)	14	9.7	7.9
b.自然エネルギーの利用	10	3.0	1.9
c.CO ₂ 削減目標	10	6	2.5
d.自然エネルギー導入またはグリーン電力購入の目標	6	1	0.6
Ⅲ 大学の地球温暖化対策	小計:40	36	26.0
e.地球温暖化対策の専任	20	16	17.3
f.地球温暖化対策を専門に扱う部署の設置	4	4	1.7
g.EMS(環境マネジメントシステム)の導入	10	10	3.9
Ⅳ 学生への教育	小計:30	10	13.8
h.環境学習(中心課程)に講義・教育研究機関	5	4	3.6
i.学生に対する支援	15	3	3.8
m.学生への環境意識啓蒙	10	3	6.3
Ⅴ 大学独自の取り組み	小計:15	6	2.8
n.先進事例や特力を活かしている事例	15	6	2.8
合計	135	73	58.9

*1 偏差値は計算の都合上、下限を30、上限を70にしています。
*2 Ⅰ章および、Ⅲ章のfに關しては基礎データ、参考データのため配点なし。



エコ大学ランキングの得点分布

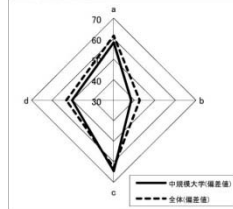
1. 全体評価
各章の偏差値からレーダーチャートを作成。



2. Ⅱ章の評価

2-① 評価と偏差値	評価(点数)	偏差値
貴大学	21	16.3
中規模	12.9	56.8
全体	61.8	61.8

2-③ 項目別偏差値



a.各エネルギー使用量(前年比削減量)
b.自然エネルギーの利用
c.CO₂削減目標
d.自然エネルギー導入またはグリーン電力購入の目標

1. 貴大学について

・大学名
CCC大学

・学生数
10,000人

・大学規模(大、中、小の三つに分類(報告書8ページ参照))
中規模(5,000人以上10,000人未満)

・大学から排出されるCO₂の総量
54,040 tCO₂

・学生一人当たりCO₂排出量
5.40 tCO₂

2-② 一人当たりCO₂排出量

貴大学	5.40 tCO ₂
同規模大学	1.31 tCO ₂
全体	1.90 tCO ₂

貴大学の回答と評価(数値による比較)

	回答	評価		
		貴大学	中規模	全体
a	最新のデータ	54,040 tCO ₂	-	-
	一昨年のデータ	56,732 tCO ₂	-	-
	CO ₂ 削減率	4.7 %削減	14	9.7
b	総量	- kWh/年	16,729	24,485
	風力	3000 kWh/年	130	332
	太陽光	2000 kWh/年	18,080	18,522
	その他	- kWh/年	0	5,266

*bの評価はそれぞれのエネルギーを導入している大学のみで平均を取っています。

貴大学の評価(点数による比較)

	評価		
	貴大学	中規模	全体
c	6	2.6	2.5
d	1	1.0	0.6

成績表の例

<第1回エコ大学ランキングの成果>

昨年度実施した第1回エコ大学ランキングでは、全国334の大学を対象に地球温暖化対策に関するアンケートを送付し、107大学から回答をいただきました。この回答をもとに取り組みを点数化してランキングにまとめ、昨年9月に私立・国公立の1位に輝いたフェリス女学院大学、岩手大学の表彰式を行いました(次ページの写真)。

また、回答していただいた大学には、エコ大学ランキングの詳細な結果や先進的な取り組みを行っている大学の事例を紹介した報告書とともに、各大学の取り組み状況を評価した『エコ成績表』を送付しました。報告書を同封しておりますので、ご覧ください。また、ウェブページ(<http://ccc.eco-2000.net/eco-campus>)でも公開しています。

『第1回エコ大学ランキング』調査結果

- ① 大学全体のCO₂排出量は前年度より増加。
- ② しかし、6割を超える大学で二酸化炭素排出量が減少。
- ③ 多くの大学が省エネをはじめとする地球温暖化対策に取り組んでいる。
- ④ 企業でも行われている省エネ型照明の導入や自動制御などの導入が進んでいる。
- ⑤ 半数以上の大学が学生に対する何らかの啓発活動を行っているという回答したが、その取り組みには大学により差がみられた。

『第1回エコ大学ランキング』の効果

- ① ランキングの結果や上位大学の取り組み状況は、20以上の新聞、テレビ、ラジオなどで取り上げられました(報告書39ページ参照)。
- ② 「エコプロダクツ2009」に出展、多くの大学教職員や学生、高校生、一般市民に各大学の取り組みを紹介。
- ③ これにより、いくつかの大学では学生がエコキャンパスを目指して組織をつくり、教職員と協力して実際に活動を行っています。

国公立大学

1位	岩手大学 (岩手県)	107点
2位	九州工業大学 (福岡県)	98点
3位	山形大学 (山形県)	96点
4位	三重大学 (三重県)	93点
5位	新潟大学 (新潟県)	89点

私立大学

1位	フェリス女学院大学 (神奈川県)	87点
2位	郡山女子大学、短期大学部 (福島県)	82点
3位	成蹊大学 (東京都)	80点
4位	名城大学 (愛知県)	74点
5位	京都精華大学 (京都府)	73点

昨年のランキング結果 (上位5大学) ※満点 125点



左から

フェリス女学院大学

秋山信義事務部長

エコキャンパス研究会 中沢有紗さん (学生)

岩手大学

環境マネジメント学生委員会 高橋幸委員長 (学生)

大塚尚寛副学長 (環境・情報統括管理担当)

左は、エコ大学ランキング表彰式。

国公立大学では、岩手大学が1位、私立大学ではフェリス女学院大学が1位を獲得。

上位大学は、その後新聞などに取り上げられました。下の記事は、フェリス女学院大学を取り上げた朝日新聞の記事です。

国公立No.1 岩手大 水使用量4割削減

日本が環境に最もやさしい大学はどこか。学生らでつくるNGOが全国の大学にアンケートし、9月に「エコ大学ランキング」を初めて発表した。環境教育の現状などを点検することで、大企業や学生の意識の向上、対策を押し進めたいが志。

「大学キャンパスは社会の縮図。地球温暖化対策を進めるための一大きな生きた教室です」。ランキングを発表した全国青年環境連盟「エコ・リ」の事務局長、東京と自然エネルギーの活用、温暖化対策、学生への環境教育、独自の取り組みの4分野14項目。

国公立で首位だった岩手大(盛岡市)の前身は、作家の宮沢賢治が学んだ盛岡高専農林学校。自然と人間の共生の思想を受け継ぐ。

学長直轄の環境マネジメント推進本部を66年設置。毎年度「CO₂排出量を前年比1%削減」など目標を設定、達成のための計画をつく

大学	順位	得点
国公立	①岩手大	107点
	②九州工業大(福岡)	98点
	③山形大(山形)	96点
私立	④フェリス女学院大	87点
	⑤郡山女子大(福島)	82点
	⑥成蹊大(東京)	80点

(得点は125点満点)

私立No.1 フェリス女学院大 屋上にビオトープ

校舎屋上のビオトープで育てるエコキャンパス研究会のメンバー。横浜市でフェリス女学院大。

「02年には学生団体「エコキャンパス研究会」が発足し、施設整備を検討する建築委員会に加わった。活動としては、生物が生きやすい空間であるビオトープづくりにかわった。部長の中沢有紗さん(20)は、設備が整えられ、環境問題が身近に感じられるようになった。就労活動も始めたが、CSR(企業の社会的責任)報告書を読むのが好き。環境対策が進んでいる企業にひかれます」と話した。

昨年からは学生の自主的な取り組みも本格化。環境対策の国際規格「ISO14001」の認証取得を公表するとともに、環境省の自主参加型「開閉排出量取引制度」に国立大として初参加する。

大塚尚副学長によると、昨年からは学生が主体的な取り組みも本格化。環境対策の国際規格「ISO14001」の認証取得を公表するとともに、環境省の自主参加型「開閉排出量取引制度」に国立大として初参加する。

大塚尚副学長によると、昨年からは学生が主体的な取り組みも本格化。環境対策の国際規格「ISO14001」の認証取得を公表するとともに、環境省の自主参加型「開閉排出量取引制度」に国立大として初参加する。

大塚尚副学長によると、昨年からは学生が主体的な取り組みも本格化。環境対策の国際規格「ISO14001」の認証取得を公表するとともに、環境省の自主参加型「開閉排出量取引制度」に国立大として初参加する。



2009年10月4日付
朝日新聞生活面

めざせエコ大学日本一

第 1 回エコ大学ランキングに参加して

第 1 回エコ大学ランキング国公立大学部門 1 位 国立大学法人岩手大学
理事・副学長 大塚尚寛

岩手大学は、昨年、エコ・リーグ（全国青年環境連盟）が主催した第 1 回『エコ大学ランキング』において、国公立大学部門の第 1 位を獲得しました。このランキングは、Campus Climate Challenge 実行委員会が、国公立大学を対象に気候変動対策に関するアンケート調査を実施し、項目ごとに採点した結果によるものです。

本学は、いずれの項目においても高得点を獲得して、見事総合 1 位に輝きました。この受賞について、地元のマスコミはもとより、全国紙や NHK ラジオの全国版にも取り上げられ、『岩手大学は、エコ大学』という印象を学内外に示すものとなり、全国からの視察も多数ありました。そして、一番の効果は、環境マネジメント学生委員会の取り組みが大きく前進したことです。

今年も、第 2 回エコ大学ランキングが実施されます。ランキング結果そのものより、大学の環境に対する取り組みを評価してもらえることは、その結果が各大学の今後の取り組みと意欲に大いに反映されることと思います。多くの大学が参加されることを期待します。

第 1 回エコ大学ランキング私立大学部門 1 位 フェリス女学院大学
国際交流学部 准教授 佐藤 輝

このランキングで上位になったことで、昨年、多くのマスメディアで「フェリスのエコキャンパス」のさまざまな活動を取り上げていただきました。その紙面や上映時間を広告費に換算すると、昨年だけで、5,000 万円以上になると試算されました。

大学内では、エコ推進と学生支援の体制がさらにパワーアップして、その後のさまざまな取り組みがスムーズに進むようにもなりました。その成果のひとつが、今年度の環境省等と共催のマイボトル・マイカップ キャンペーン、あるいは授業をグリーン電力でまかなうプロジェクトとして、学生の新たな活動につながりました。

CCC 実行委員会のような第三者による客観的かつ公平な評価を通して、全国の大学の環境保全活動への努力に社会の注目が集まり、一層の環境対策の発展につながることを期待しております。

最後に、CCC 実行委員会の献身的なご尽力と先見性に敬意を表します。

<Campus Climate Challenge(CCC)実行委員会>

私たち CCC 実行委員会は、全国青年環境連盟（エコ・リーグ）を中心として、大学の環境改善活動に関心のある大学の環境サークル・環境ゼミ等のグループをメンバーとする組織です。現在、約 30 大学にメンバーがおります。※エコ・リーグに関しては同封の資料をご覧ください。

私たちは、学生の過ごす大学（キャンパス）を「**大きな実験室**」と捉え、社会に率先して、新しい活動、新しい技術、新しいシステムを導入し、温暖化防止を促進することを目指しています。

日本の大学の持続可能なキャンパスづくりを促進するために、多様な取り組みを行っています。

- (1) 大学の情報共有などを目的とした「**エコ大学ランキング**」
- (2) 学生のキャンパスづくりへの参加を促す、学生の目線を取り入れた「**エコキャンパスツアー**」
などです。

CCC 実行委員会では、このように大学側、学生側両方に焦点を当てた企画を行い、日本の大学をカーボンフリーにすることを目指し活動しています。

第 2 回エコ大学ランキングは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて実施しています。

調査表の電子データ (MS Word, PDF) を、ウェブページからダウンロードできます。ご希望の方は、下記の URL にアクセスし、ダウンロードをお願いいたします。

URL : <http://ccc.eco-2000.net/>

電子データでの回答送付先 : ccc@eco-2000.net

そのほか、調査に関する疑問点等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

<連絡先>

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19

銀鈴会館 507 エコリーグ事務局内

Campus Climate Challenge(CCC) 実行委員会

TEL: 03-5225-7206 FAX: 03-5225-7206

URL : <http://ccc.eco-2000.net/> e-mail: ccc@eco-2000.net

担当 : 永井 健太郎